

## Ⅱ 事業計画

### 1 重点項目事業

#### 【重点項目1】 地域スポーツの振興と市民の健康づくり

##### (1) 総合型地域スポーツクラブの創設支援事業

###### ① スポーツ体験塾【普及委員会】

子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多趣味）、初心者からトップレベルまでそれぞれの志向・レベルに合わせて参加でき（多志向）、また、地域スポーツの普及振興の担い手であるスポーツ推進委員等の活動の活性化に資する様々なスポーツ教室を開催します。

（開催回数 8回/年）

- ・会場 福岡市民体育館、福岡市総合体育館、雁の巣レクリエーションセンター
- ・内容 各種スポーツ教室、体力測定会など



ボルダリング教室

##### (2) 地域スポーツ普及事業【普及委員会】

多くの市民が気軽にスポーツに親しみ、健康・体力づくりを行える機会を提供することにより、スポーツを日常的に楽しむ市民の裾野の拡大を図り、スポーツを通じた心と体の健康づくりを推進します。

###### ① 出前スポーツ塾

地域等で開催されるスポーツ・健康づくり教室等へ本協会のスポーツトレーナーを派遣します。

～多様なプログラムの提案・指導～

- 子どもから高齢者まで
- スポーツ推進委員の研修
- 企業等職員の健康、体力の維持増進

（開催回数：22回/年）



企業ストレッチ指導;出前スポーツ塾

##### (3) 地域スポーツサポート事業【スポーツリーダー・バンク運営委員会】

福岡市スポーツリーダー・バンク登録指導者、当協会加盟団体の指導者及びトップアスリートが指導を行うことで、スポーツを始めるきっかけづくりを推進します。

###### ① 指導者の派遣・紹介

市民からのスポーツ指導者の派遣・紹介要請に対して、スポーツリーダー・バンク登録指導者を派遣・紹介するとともに、当協会加盟団体・各種スポーツ団体の指導者やトップアスリートを、講師として紹介します。



生涯スポーツ講座

## ② 指導人材の確保と資質の向上

多様な市民ニーズに適切に対応するため、幅広いジャンルの指導人材の確保及び指導者の資質の向上を図るため、「生涯スポーツ講座」「フォローアップ研修」「派遣体験会」を実施します。

## 【重点項目2】スポーツ人口の拡大と競技力の向上

### 《スポーツ人口の拡大》

#### (1) 市民総合スポーツ大会【普及委員会】

##### ① スポーツ競技大会等

加盟40団体（中体連、高体連を除く）が、広く市民が参加できるスポーツ競技大会、女性・少年スポーツ大会など約70大会を開催します。

##### ② 市民スポーツフェスタ（総合開会式）

総合開会式の会場である平和台陸上競技場が改修工事により使用できないため、総合開会式及び同時開催のスポーツフェスタは中止します。



市民総合スポーツ大会  
少林寺拳法大会

#### (2) スポーツ観戦教室事業【普及委員会】

トップ選手のプレーに身近に接し、感動を共有するとともに、スポーツの魅力や楽しさを体感し、スポーツを始めるきっかけとなるなど、スポーツ人口の裾野の拡大に繋がる観戦教室を開催します。

（開催回数 2回/年）



ラグビー観戦教室

#### (3) 女性スポーツ団体活性化支援事業【普及委員会】

女性スポーツ団体の資質の向上や、女性スポーツ団体相互連携・交流促進など女性スポーツ団体の活性化支援を行い、女性スポーツの普及・振興を図ります。

##### ① 女性スポーツ団体活動助成

女性指導者の育成等を図るため、協議会構成団体が開催する研修会等への経費の一部助成を行います。

##### ② スポーツフェスタ

女性指導者の育成及び市民スポーツの普及・振興に繋がるスポーツイベントを開催します。



スポーツフェスタソフトバレー

#### (4) 加盟団体スポーツ教室支援事業（加盟団体重点事業補助金）【普及委員会】

加盟団体が開催する初心者から愛好家、子どもから高齢者までを対象にした多種多様なスポーツ教室・スポーツ交流会の開催経費を一部助成します。

- ・助成限度額：100千円/団体
- ・助成対象事業：スポーツ教室、スポーツ交流会
- ・助成団体：16団体

## 【重点項目2】スポーツ人口の拡大と競技力の向上

### 《競技力の向上》

#### (1) 加盟競技団体強化支援事業【強化委員会】

スポーツ協会加盟団体の組織強化、競技力向上に向けた選手強化、指導力向上及び指導者育成等の活性化支援事業を行います。

##### ① 競技力・指導力向上支援

###### (7) 加盟団体強化事業費

加盟団体の競技力及び指導力向上を目的とした事業経費の一部助成を行います。

- ・助成限度額：120千円/団体
- ・助成団体：42団体

###### (4) 県民スポーツ大会予選会等実施費

県民スポーツ大会出場競技団体に対する予選会及び強化練習に要する費用の一部助成を行います。

- ・助成限度額：30千円＋（1,300円×本選出場人数）
- ・助成団体：13団体



県民スポーツ大会バドミントン

##### ② ジュニア競技力向上支援（加盟団体重点事業補助金）

ジュニア層の競技力向上を図るため、少年スポーツ大会・強化練習の開催経費の一部助成を行います。

- ・助成限度額：100千円/団体
- ・助成対象事業：少年スポーツ大会、強化練習
- ・助成団体：11団体

##### ③ 指導者の育成支援（加盟団体重点事業補助金）【スポーツリーダーバンク運営委員会】

加盟団体が実施する指導者の育成を目的とした研修事業に対し、開催経費の一部助成を行います。

- ・助成限度額：100千円/団体
- ・助成対象事業：指導者研修、研修派遣
- ・助成団体：4団体

##### ④ 大規模国際スポーツ大会開催を契機とした競技力向上支援

「世界水泳選手権大会」や大規模国際スポーツ大会の開催を契機とした、トップレベルの指導者による講習会や技術指導研修会の実施等、加盟団体の選手強化等の支援を行います。

##### ⑤ 世界水泳選手権大会の機運醸成事業

令和5年7月に開催予定の世界水泳選手権大会開催に向けて、スポーツ協会独自及び各区市民プールと協力して機運醸成事業を行います。

#### (2) 国際スポーツ交流支援事業【強化委員会】

##### ① 福岡市・釜山廣域市中・高校生スポーツ交流大会支援

ジュニア層の競技力向上及び国際親善を目的として釜山廣域市との間で実施する、中・高校生のスポーツ交流大会は、新型コロナウイルス感染症の状況から来年度に延期する方向で検討します。

##### ② 加盟競技団体国際スポーツ交流事業助成

加盟団体が競技力向上及び国際親善を目的として実施する、国際スポーツ交流事業の経費の一部助成を行います。

- ・助成限度額：60千円/団体
- ・助成団体：3団体

## 【重点項目3】スポーツを通じた子どもの健全育成

### (1) 福岡市スポーツ少年団事業【福岡市スポーツ少年団】

子どもたちにスポーツの喜びを提供するとともに、スポーツを通じた心身の健全な育成などを目的として活動するスポーツ少年団の活性化を図る事業を展開します。

#### ① 本部事業

福岡市スポーツ少年団本部において、「単位団の組織活性化や相互交流」「育成母集団の育成」「加入促進」等を推進する事業を実施します。

#### ② 競技別少年団サポート事業

競技別交流大会の運営等に対して、経費の一部助成を行うとともに、事務的なサポートを行い、単位少年団の相互交流及び少年団加入の促進を推進します。



育成母集団研修

#### ③ 単位少年団サポート事業

単位団が全国大会等へ参加する経費の一部助成を行います。

### (2) ジュニアスポーツ普及事業

次世代を担う子どもたちがスポーツに親しみ、楽しさや喜びを体感できる機会を提供するなど、スポーツによる心身の健全育成を推進します。

#### ① 出前スポーツ塾（再掲）

地域等で開催される子ども向けのスポーツ教室等へ本協会のスポーツトレーナーを派遣し、子どもたちがスポーツに親しみ、楽しさや喜びを体感できる機会の拡充を図ります。（開催回数 22回/年）



出前スポーツ塾

#### ② オンライン事業

プロスポーツ選手によるオンライン「夢授業」や、オンラインで参加できるイベントなど、コロナ禍でも安心して参加できるオンラインを使った事業を展開します。

#### ③ はじめのいっぽプロジェクト

体力測定で自分の運動能力を認識し、1人1人の異なる身体の特徴や、各種目の測定から得た結果をもとにAIにより、その人に向いているスポーツ種目を提案するシステム『DigSports（ディグスポーツ）』を使用し体力測定会を実施します。また、子どもたちがスポーツをはじめのきっかけづくりを目的とする体験イベント『スポーツ体験ランド』を開催するとともに、福岡市と連携し子どものスポーツを始めるきっかけづくり事業を検討していきます。

### (3) スタージャンプ福岡（ジュニア育成事業）【普及委員会】

福岡に活動拠点を置くトップスポーツチームの協力のもと、子どもたちに種目の垣根を越えて、スポーツの素晴らしさや、体を動かすことの楽しさを伝えるスポーツイベントを開催します。

#### ① スタージャンプ福岡1st

トップスポーツ選手等と一緒に多様なスポーツ（遊び）を通して、スポーツの楽しさを体験します。

・開催予定：令和4年6月

#### ② スタージャンプ福岡2nd



スタージャンプ福岡

トップスポーツ選手等と一緒に多様なスポーツ（遊び）を通して、スポーツの楽しさを体験します。

・開催予定：令和4年10月

#### (4) ジュニア層指導者養成事業【強化委員会】

ジュニア層の競技力向上のため、指導者へ具体的な指導方法等の講習会を開催し、よりレベルの高いトップアスリートの育成に努めます。また、暴力・パワハラ防止をテーマにした指導者向けの倫理研修も開催し、知識・技術だけではなく、人間力を兼ね備えた指導者の育成に努めます。

・開催予定：令和4年6月～3月

・全8回



ジュニア層指導者養成事業

### 【重点項目4】公益財団法人としての組織づくり

#### (1) 財政基盤の強化【財務強化委員会】

指定管理施設等における自主企画スポーツ教室の拡充による収益の確保や、賛助会員制度のさらなる充実、企業等からの広告料・協賛金の獲得、関係機関・団体の助成制度の活用など、自主財源の確保に取り組みます。

#### (2) 組織の活性化・効率化【企画調整委員会】

スポーツ協会を取りまく環境の変化等に適切に対応し、効果的な組織編成、職員の意識改革、業務改善などに取り組み、組織の活性化・効率化を図ります。

##### ① 組織体制の見直し

市民体育館の令和4年5月の再開館に向けた準備や開館後の万全な体制での施設運営を行っていくために、組織体制を含め、人材の確保に努めます。

##### ② 組織強化・職員の意識改革（モチベーション向上）

各種事業をより効果的・効率的に推進していくため、処遇の改善（子の看護休暇等の改正により福利厚生制度の充実）を行います。

##### ③ 職員のスキルアップ

資格取得研修やスキルアップ研修を引き続き実施します。

#### (3) 広報事業【広報委員会】

市民のスポーツ活動への参加促進を図るため、スポーツ施設、スポーツ大会・イベント、スポーツ教室、地域スポーツ活動などのスポーツ情報を幅広く収集するとともに、各種広報媒体の特性を活かし、より効果的な情報発信を行うため、全職員を対象とした研修会を実施するなど、職員の広報意識の向上に努めます。

##### ① 広報ツールの活用

広報誌や情報紙、ホームページ、各種SNSなど、バランスをとりながら、広報ツールの特性を踏まえた情報発信を行います。

## (7) 広報誌の発行

加盟団体の活動、大会情報、イベント情報等、様々なスポーツ情報を広く市民に提供するため広報誌「おっしょい福スポ」を発行します。特に、世界水泳選手権大会に向けた特集を組むなど、その機運醸成を図ります。

- ・発行 年3回（5、9、1月） 各10,000部発行
- ・配布先 加盟団体、地区体育施設及び区役所等公共施設



「おっしょい福スポ」vol.28

## (4) 情報紙の発行

市内の公共施設で開講されるイベントやスポーツ教室の募集情報を集約し、広く市民に提供するため情報紙「おっしょい福スポ かわら版」を発行します。

- ・発行 年3回（7、12、3月） 各60,000部発行
- ・配布先 市内小学1～4年生、地区体育施設及び区役所等公共施設

## (5) ホームページ、各種SNSの効果的な活用

ホームページ、各種SNSを活用し、幅広い年齢層を対象に各種情報を効果的かつリアルタイムで情報発信します。

## ② 加盟団体等と連携した情報の収集・発信

加盟団体をはじめ関係機関・団体と連携強化を図り、協会ホームページとのリンク等、効果的な情報の収集・発信を行います。

## ③ 広報マインドの醸成

協会職員の広報知識・技能の向上を図るため広報研修会を開催し、効果的・効率的な広報活動を推進します。

## (4) 加盟団体等との連携強化・交流事業（企画調整委員会）

スポーツを取り巻く環境の変化や様々な課題に適切に対応するため、加盟団体をはじめ、関係団体と連携強化を図り、効率的に市民スポーツ・競技スポーツの普及振興を図ります。また、加盟団体の活動の活性化に向け、加盟団体間の交流・連携を促進するため、賛助会員や加盟団体を対象とした「交流会」を実施します。

## (5) 表彰事業【表彰委員会】

本市スポーツの普及と振興に寄与し、その功績が顕著な団体及び個人、各スポーツ大会において優秀な成績を収めた団体及び個人等を讃える表彰式を開催します。

- ・開催予定日 令和5年3月11日（土）



表 彰 式

## (6) 「新・スポーツ推進プラン」（仮称）の策定

令和4年度中に福岡市が策定する「福岡市スポーツ推進計画」との整合を図りながら、今後10年間の本協会のあるべき姿、進むべき方向を定めるプランを策定します。

## 2 指定管理事業【施設管理委員会】

福岡市の外郭団体として、総合西市民プール、福岡市民体育館、中央体育館を市民の健康・体力づくりの活動拠点として円滑かつ効率的な管理運営を行っていきます。

総合西市民プールにおいては拠点プール施設として、国際規模や全日本規模の大規模スポーツ大会から地域の大会まで幅広いスポーツ・レクリエーション活動の受け入れを行います。

福岡市民体育館については、競技場における大規模大会を中心とした活動の場として、中央体育館においては、区の幅広いスポーツ・レクリエーション活動の場として受け入れを行い、それぞれの施設が担う役割や独自の特徴を生かしながら、市民の生涯スポーツ、健康づくりの活動の場を提供し、地域コミュニティ機能の充実を図っていきます。



総合西市民プール



福岡市民体育館



中央体育館

- 総合西市民プール 【指定期間：令和3年4月～令和8年3月】
- 福岡市民体育館 【指定期間：令和4年4月～令和9年3月】  
※ 令和4年5月再開館
- 中央体育館 【指定期間：令和4年4月～令和9年3月】

## 3 収益事業

### (1) 自動販売機の設置

施設利用者の利便性向上を図るとともに、公益目的事業の推進及び財政基盤の強化を図るため、本協会が管理運営する施設において、自動販売機を設置します。

区 分	設置台数
総合西市民プール	12台
福岡市民体育館	13台
中央体育館	13台
合 計	38台

## 4 実行委員会事業（主催・共催事業）

### (1) 主催事業

#### ① 令和4年度第36回 市民総合スポーツ大会【普及委員会】

市民によるスポーツへの関心と参加意欲の高揚を図るため、市民スポーツの祭典として、加盟団体と連携した「市民総合スポーツ大会」開催します。なお、令和4年度の総合開会式及び市民スポーツフェスタについては、平和台陸上競技場が大規模改修工事で使用できないため、中止します。

- ・ 主 催 福岡市、福岡市教育委員会、（公財）福岡市スポーツ協会、  
NPO法人福岡市レクリエーション協会、福岡市スポーツ推進委員協議会、  
福岡市障がい者スポーツ協会、各区体育振興会
- ・ 大会数等 各種競技大会 (110種目、約65,000人)  
競技団体スポーツ教室 (15教室、約1,500人)

#### ② 福岡市・釜山廣域市中・高校生スポーツ交流大会【強化委員会】

ジュニア層の競技力向上及び国際親善を目的として釜山廣域市との間で実施する、中・高校生のスポーツ交流大会は、コロナウイルス感染症の状況から来年度に延期する方向で検討します。

- ・ 主 催 (公財)福岡市スポーツ協会
- ・ 開 催 日 令和4年8月下旬(2泊3日)
- ・ 開催都市 釜山廣域市(派遣)
- ・ 開催種目 5種目  
[中学生] バドミントン、バスケットボール、  
[高校生] サッカー、テニス、セーリング
- ・ 派遣者数 福岡市100人



福岡・釜山スポーツ交流大会

#### ③ 福岡県民スポーツ大会 福岡市選手団【強化委員会】

福岡県民スポーツ大会 郡市対抗競技大会へ参加するため、福岡市選手団を組織して各大会へ選手・役員を派遣します。

- ・ 主 催 福岡市、(公財)福岡市スポーツ協会
- ・ 開 催 日 夏季大会 令和4年8月21日(日)  
(予定) 秋季大会 令和4年9月24日(土)  
25日(日)  
冬季大会 令和4年11月20日(日)
- ・ 派遣人数 15種目 約400人
- ・ 選手団結団式 令和4年9月16日(金)



県民スポーツ大会バレーボール

## (2) 共催事業

### ① ウィンタースポーツフェスタ 2022

- ・主 催 ウィンタースポーツフェスタ実行委員会
- ・共 催 福岡市スケート連盟、福岡市、  
(公財) 福岡市スポーツ協会、
- ・開催予定 令和4年12月17日(土)
- ・会 場 福岡県立総合プール(スケートリンク)
- ・参加予定 2,500人



ウィンタースポーツフェスタ

### ② 2023 FUKUOKA indoor 3×3

- ・主 催 FUKUOKA indoor 3×3 実行委員会
- ・共 催 福岡市バスケットボール協会、  
(公財) 福岡市スポーツ協会、福岡市
- ・開催日 令和5年3月11日(土)
- ・会 場 福岡市民体育館競技場
- ・募集チーム  
小学生の部 男子24チーム、女子24チーム  
中学生の部 男子24チーム、女子24チーム  
オープンの部 男子24チーム、女子24チーム  
シニアの部 男子12チーム  
男女混合の部 12チーム



FUKUOKA indoor 3×3